



▲避難所開設の方法などについて話し合うグループ



▲講師の説明に耳を傾ける参加者

地域の話題

田原市地域コミュニティ連合会

地域全体で防災意識を高めよう

地域発

2月7日(木)に、田原市役所の防災センターで行われた「避難所運営シミュレーション研修」について、
田原市地域コミュニティ連合会からお便りが届きました。

先進地を視察

私たち連合会は、昨年11月6日、7日と静岡県沼津市および熱海市で「自主防災活動の先進事例」を視察しました。先進地域における実践的な取り組みを学ぶことができ、あらためて日ごろからの備えの重要性を認識しました。

避難所開設をゲームで体験!

大規模な災害が発生したとき、避難所には多くの方が殺到しますが、運営は地域住民が自主的に行うことが求められるため、さまざまな問題の発生が予測されます。

いざという時のために、避難所運営を体験し、理解を深める機会として、この研修を企画しました。

研修には、校区会長や自治会長、防災リーダーなど52名が参加しました。冒頭、連合会の視察研修の報告を行い、次に8班に分かれ、愛知県防災局災害対策課の職員を講師に、「避難所HUG」と呼ばれる避難所運営ゲームを行いました。ゲームでは、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれた約250枚のカードを、避難所に見立てた体育館や教室の平面図に配置したり、避難所できこるさまざまな出来事に対応したりするかを、模擬体験しました。



▲模擬体験ゲーム(避難所HUG)

研修の成果を生かして

参加者は、初めのうちはとまどっていました。災害時要援護者へ配慮をしながらの部屋割り、炊き出し場や仮設トイレ配置など生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、積極的に意見が出されるようになりました。

田原市地域コミュニティ連合会では、今後も「防災」を地域の課題と捉え、このような研修を続けていきたいと思っています。

★「避難所HUG」ってなに？

避難所運営を、みんなで考えるためのひとつのアプローチとして、静岡県が開発したものです。

HUGは、H(hinanzyo)、U(uneい)、G(ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられました。

※連合会でも、HUGキットを所有しています。キットは貸出可能ですので、ぜひ地域活動でご活用ください。

▶お問い合わせ＝事務局(市民協働課内) ☎23局3504